

# 令和2年度 石川県教育工学研究会 総会

- ① 開会宣言
- ② 挨拶（前年度会長 村井先生）
- ③ 議長選出
  
- ④ 平成31年度(令和元年度)事業報告（飯田事務局長）
- ⑤ 平成31年度(令和元年度)会計報告（清水先生、会計監査委員青江先生林先生）
  
- ⑥ 令和2年度会長選出（飯田事務局長）
- ⑦ 新会長挨拶
- ⑧ 令和2年度役員案、会則の改訂について（飯田事務局長）
- ⑨ 令和2年度事業計画の提案と審議（飯田事務局長、福田研究部長）
- ⑩ 令和2年度会計予算の提案と審議（会計清水先生）
  
- ⑪ 閉会挨拶
- ⑫ 閉会宣言

## 事務局より

### 1. 令和元年度事業報告および収支決算

（1）令和元年度事業報告について 資料1 参照（事務局長）

#### ①学習会

今年度の教育工学研究会としての学習会は2回行いました。

第1回 「Most Likely to Succeedから未来の学びを考える」

日時：5月26日(土) 13:30～ 総会 14:30～ 学習会

会場：金沢大学附属小学校ランチルーム

今、世界中で話題の映画「Most Likely to Succeed」を見て、一緒に未来の教育について考えました。

第2回 「デジタルシンキングツール活用セミナー」

日時 8月1日(木) 13:30～

場所 金沢市教育プラザ富樫 121号室

講師：関西大学 黒上晴夫先生

タブレット端末アプリ「ロイロノート・スクール」に搭載された新機能「デジタルシンキングツール」を体験しました。

#### ②研究会での発表等

○第45回全日本教育工学研究協議会全国大会・島根大会は発表者なし

○北陸三県福井大会は2名発表。福井は令和2年度より活動休止となりました。

#### ③教育工学研究報告集（デジタル版）をホームページに掲載

第1号、第2号 をホームページに掲載しました。

教育工学研究や授業実践について広く発信することを目的に随時、発行します。

当会会員は、以下のジャンルを参考に執筆、投稿してください。

- ・報告系：実践報告や研究報告等（過去に発表、掲載されたものを含む）
- ・研究系：授業研究や実践研究等（研究の視点を含むもの）
- ・論文系：研究ノートや研究論文（理論的な視点を含むもの）

#### ④ICTキャラバン

- 第1回 8月27日（火）小松市立符津小学校 タブレット端末を活用した授業作り
- 第2回 9月17日（火）金沢市立中央小学校芳斉分校 タブレット端末を活用した授業作り
- 第3回 1月24日（金）金沢市立杜の里小学校 プログラミング教材の体験

#### ⑤3月8日（日）年次大会の中止

新型コロナウイルス感染防止のため中止。  
研究紀要（第44号）は発行し、会員へ郵送しました。

#### ⑥石川授業デザイン研究会

- ・若手を中心に月に1回程度集まり、授業づくりについて、研究の方法について、研修を深めています。

#### ⑦理事および役員に委嘱状を発行

総会後に、常任理事・理事・研究委員・会計監査に委嘱状を発行しました。

#### ⑧共催関連

##### ○デジタル表現研究会との連携

- ・「つくろう！ニホンの教育フューチャー！D-project 金沢2019」

日時：8月3日（土） 9：30～16：30

会場：金沢星稜大学キャリアデザイン館2階

テーマ：「新学習指導要領に向けて授業をアップデート！」

##### ●中川一史先生による基調講演

##### ●県内外の実践者による12本の実践発表

##### ●授業作りの達人・八崎和美先生、学級作りの達人・石田年保先生による「温故知新・不易と流行」コーナー

##### ●ワークショップ

- ・WS1：『垣根を崩した学び』を考えよう～コラボでつくる新たな授業～

講師：福田晃（金沢大学附属小）細川都司恵（金沢星稜大学）岩崎有朋（鳥取県岩美中）

- ・WS2：iPadで創造力を引き出そう～Everyone Can Createの体験

講師：中村純一（佐賀県大和中）山口真希（放送大学大学院）荒木弥生子（中央小芳斉分校）

- ・WS3：プログラミングで社会にやさしい車の運転を体感

講師：清水和久・田口優（杜の里小）

##### ●パネルディスカッション

「どうする？どうなる？プログラミング教育」

コーディネーター 佐藤幸江先生

パネリスト 佐和伸明先生 小林祐紀先生 山口真希先生

##### ○金沢大学授業力向上ゼミとの連携

- ・毎月の授業力ゼミ

- ・金沢大学授業力向上ゼミ 特別セミナー2019

日時：12月27日（金）12：30～16：50

場所：金沢大学附属小学校 ランチルーム

テーマ：新学習指導要領の理念を実現する授業づくり

#### (2) 収支決算について 資料2参照（会計）

年次大会中止のため、企業からの協賛金が入らず、やむなく県へ90,000円返金しました。

## 2. 役員の推薦について 資料3 参照 (事務局長)

### (1) 令和2年度会長の継続について

- ・令和2年度も引き続き会長を村井万寿夫先生にお願いします。
- ※5月総会にて選出…会則第9条(1)による

### (2) 令和2年度役員推薦について

- ・お気づきの点をご指摘ください。
- ・視聴覚教育研究協議会からの場茂樹先生(夕日寺小)が副会長です。
- ・事務局メンバーは令和元年度と同じ。  
研究部長、副部長の負担が大きいため、業務の一部を分担します。
- ・理事および役員に委嘱状を発行し、それぞれの役割を意識してもらいます。
- ・研究部アドバイザーに八崎和美先生と山下雅美先生を推薦します。

## 3. 令和2年度事業計画(案)および収支予算(案)

### (1) 令和2年度事業計画案について 資料4 参照

#### ①総会、理事会について

- ・理事会は3月年次大会(3月7日)の昼休憩中に短時間で行います。

#### ②講演会・学習会について (研究部長)

- ・第1回の学習会はZoomを活用し、オンラインで総会前に行いました。(67名参加)
- ・ニーズに合わせたテーマを年度当初に設定(研究部)し、3ないし4回の学習会(共催含む)を計画します。
- ・引き続き、石川授業デザイン研究会で若手の授業力を高めていきます。

#### ③ICTキャラバン

- ・希望する学校へICTキャラバンを派遣します。今年度からホームページ等でも募集します。

#### ④組織拡大・強化の取り組み、学会等について (研究部長)

- ・引き続き、石川県視聴覚教育研究協議会、デジタル表現研究会、金沢大学授業力向上ゼミ、企業との連携も視野に入れ、会員の拡大を図ります。
- ・引き続き学生の参加を呼びかけ、卒業後も本会に所属することをねらいます。
- ・イベント告知用メーリングリスト、およびフェイスブックを引き続き活用し、より一層の充実を図ります。
- ・事務局の仕事内容を明文化して共有し、組織の強化に役立てます。(会長、副会長、事務局長、事務局次長(企画・組織拡大・会報)、研究部長・副部長、会計、研究委員)
- ・会の運営にあたりSlackで情報を共有しながら、より透明性のある会の運営を図ります。
- ・第46回全日本教育工学研究協議会全国大会(鹿児島大会)は11月6日(金)7日(土)、北陸三県教育工学研究大会は富山で開催されます。

#### ⑤会報100号記念誌の発行について

- ・3月の会報で100号を迎えるので、記念誌発行をします。

### (2) 令和2年度予算について 資料5 資料6 参照

- ・図書費は「支部」ではなく、「グループ」として活動費を設定しています。
- ・会費は、年度の途中入会は無料、次の年度から4000円を納めてもらいます。

| 事業          | 期日  | 概要  |
|-------------|---|---|
| 1 総会<br>理事会 | 5月26日(土)<br><br>3月8日(日)   | 平成31年度総会（於：金沢大学附属小学校）<br>・平成30年度事業報告・決算報告<br>・平成31年度（令和元年度）事業計画・予算案<br><br>平成31年度（令和元年度）理事会 中止  |
| 2 研究事業      | 4月10日(水)<br>5月24日(金)<br>5月25日(土)<br><br>6月17日(月)<br>8月1日(木)<br><br>8月3日(土)<br><br>8月27日(火)<br>9月17日(火)<br><br>9月25日(水)<br>10月3日(木)<br>10月18日(金)<br>19日(土)<br>11月22日(金)<br>12月27日(金)<br>12月28日(土)<br><br>1月15日(水)<br>1月24日(金)<br>2月21日(金)<br>2月16日(日)<br><br>3月8日(日)<br>3月30日(月) | ○事務局会 会場：金沢星稜大学<br>○授業力向上ゼミ 会場：金沢大学附属実践支援センター<br>○第1回学習会「Most Likely to Succeed から未来の学びを考える」 会場：金沢大学附属小学校ランチルーム<br>○授業力向上ゼミ 会場：金沢大学附属実践支援センター<br>○第2回学習会「デジタルシンキングツール活用セミナー」<br>会場：金沢市教育プラザ富樫<br>○夏の研究会 D-project2019 in 金沢<br>「新学習指導要領に向けて授業をアップデート！」<br>会場：金沢星稜大学キャリアデザイン館2階<br>○第1回ICTキャラバン 会場：小松市立府津小学校<br>○第2回ICTキャラバン 会場：金沢市立中央小学校芳<br>齊分校<br>○授業力向上ゼミ 会場：金沢大学附属実践支援センター<br>○授業力向上ゼミ 会場：金沢大学附属実践支援センター<br>○第45回全日本教育工学研究協議会全国大会 松江大会<br>会場：島根県民会館<br>○授業力向上ゼミ 会場：金沢大学附属実践支援センター<br>○授業力向上ゼミ 会場：金沢大学附属実践支援センター<br>○冬の研究会 金沢大学授業力向上ゼミ特別セミナー2019<br>「新学習指導要領の理念を実現する授業づくり」<br>会場：金沢大学附属小学校ランチルーム<br>○事務局会 会場：金沢大学附属実践支援センター<br>○第3回ICTキャラバン 会場：金沢市立杜の里小学校<br>○授業力向上ゼミ 会場：金沢星稜大学A館4階大会議室<br>○北陸三県教育工学研究大会福井大会<br>「これからの学びのカたち 2019」<br>会場：福井大学連携センターFスクエアアオッサ7階<br>○研究大会 新型コロナウイルス感染防止のため中止<br>○授業力向上ゼミ 会場：金沢大学附属実践支援センター |
| 3 刊行事業      | 4月、6月、8月、<br>10月、12月、3月<br><br>7月、3月<br>3月  | ○研究会ニュース<br>年間を通じ当会 Web サイト <a href="http://i-kougaku.undo.jp/">http://i-kougaku.undo.jp/</a> にて<br>ニュースを掲載しています。<br>○会報(97号、98号、B5版、24頁、150部)<br>○第44号研究紀要(A4版、60頁、150部)   |

# 令和元年度 石川県教育工学会決算書

資料2

会計 清水和久

## 収入

|    | 項目           | 単価    | 人数 | 合計     |
|----|--------------|-------|----|--------|
| 1  | 会費           | 4000  | 67 | 268000 |
| 2  | 賛助会費など       | 20000 | 0  | 0      |
| 3  | 雑収入(当日参加費なし) | 1000  | 0  | 0      |
| 4  | 県補助(9万減額)    |       |    | 230000 |
| 合計 |              |       |    | 498000 |

## 支出 領収書の項目と対応

| 番号  | 項目         | 代金     | 科目合計   | 詳細項目           |
|-----|------------|--------|--------|----------------|
| 11  | 謝金         | 0      | 0      | 3月大会中止座長謝礼無し   |
| 21  | 講師旅費       | 0      |        | 3月大会中止のため      |
| 22  | 島根全国大会旅費   | 0      |        | 理事会派遣欠席(村井)    |
| 23  | 福井北陸3県大会旅費 | 20000  | 20000  | 発表者(角納 細川)     |
| 31  | 消耗         | 395    |        | マジックインク等       |
| 32  | 消耗         | 12514  |        | ファイル、封筒等       |
| 33  | 消耗         | 3122   | 16031  | ファイル           |
| 41  | 印刷費(会報)    | 81000  |        | 会報97号          |
| 42  | 印刷費(会報)    | 81400  |        | 会報98号          |
| 43  | 印刷費(紀要)    | 85800  | 248200 | 研究紀要44号        |
| 51  | 図書費        | 80000  | 80000  | 授業デザイン研究会活動補助費 |
| 71  | 通信費        | 3084   |        | 切手代金           |
| 72  | 通信費        | 12400  |        | 葉書(4月27日郵送)    |
| 73  | 通信費        | 14555  |        | 会報発送(8月16日郵送)  |
| 74  | 通信費        | 11825  |        | 会報紀要発送(4月1日郵送) |
|     | 通信費        | 1707   | 43571  | 切手、封筒代金        |
| 80  |            |        |        |                |
| 91  | 賃金         | 30000  | 30000  | 村井事務賃金         |
| 101 | 組織加盟金      | 10200  | 10200  | 日本教育工学協議会      |
|     | 葬儀代        | 21600  | 21600  | 元会長葬儀花代金       |
| 121 | web維持費     | 6000   | 6000   | 清水名義           |
| 131 | 会議費        | 2398   | 2398   | 総会前打ち合わせ会議     |
| 132 | 準備金        | 20000  | 20000  | 会報100号記念準備金    |
| 合計  |            | 498000 | 498000 |                |

|           | 収入     | 支出     | 繰越金 |
|-----------|--------|--------|-----|
| 収支決算(見込み) | 498000 | 498000 | 0   |

|    |       |        |
|----|-------|--------|
| 支出 | 補助対象  | 407802 |
|    | 補助対象外 | 90198  |
|    | 合計    | 498000 |

令和2年5月28日

上記の通り決算を完了します

令和2年度 石川県教育工学研究会役員名簿 (案)

資料3

【会 長】 村井万寿夫 (北陸学院大)

【副会長】

加藤 隆弘 (金沢大) 清水 和久 (金沢星稜大)  
的場 茂樹 (石川県小中学校視聴覚教育研究協議会会長・夕日寺小)

【常任理事】

渡辺 直人 (松陽小) 山下 匡 (町野小) 荒巻 幸子 (山王小)  
中野 淳子 (富陽小) 西田 素子 (小坂小) 今井 直人 (美川小)

【理 事】

布川かほる (中能登教育事務所) 正來 洋 (河内小) 平瀬 方識 (鹿西高)  
長田 博美 (笠野小)

【事務局長】 飯田 淳一 (森本小) [補] 村井美智子 (金沢大)

【事務局次長】 福田 晃 (企画担当: 金沢大附属小)  
山口 眞希 (組織拡大担当: 金沢学院大)  
海道 朋美 (会報担当: 田上小)

【研究部長】 福田 晃 (金沢大附属小)

【研究副部長】 荒木弥生子 (中央小芳斉分校) 田口 優 (杜の里小)

【研究委員】

西野 聡子 (緑小) 久米田年雄 (千代野小) 岡本 光司 (金大附属小)  
上原 絵里 (十一屋小) 茗荷谷衣里奈 (符津小) 今村 円香 (押野小)  
前波 優 (犀川小) 竹村 伊代 (向栗崎小) 武田 理恵 (北陸学院小)  
北濱 康裕 (錦城中) 田向 海裕 (内灘高) 崎山 寛之 (桜丘高)

【研究部アドバイザー】 細川都司恵 (金沢星稜大) 中條 敏江 (松任小)  
山下 雅美 (高松小) 八崎 和美 (志賀小)

【会 計】 清水 和久 (金沢星稜大) 細川都司恵 (金沢星稜大)

【会計監査】 青江 弘義 (向栗崎小) 林 道雄 (金沢向陽高)

【日本教育工学協会役員】 (理事) 村井万寿夫 (名誉理事) 吉田 貞介

【名誉会員】

紙谷 威 山本 昌猷 清丸 亮一 谷内 敏夫 藤井 昭久 押野 市男  
南 千之 内田 正明 三田村英明 西田 政人 宇都宮 博 菖蒲田英夫  
畠 一馬 荒巻 雅博

【顧 問】 吉田 貞介

【指導委員】

太田 雅夫 小笠原喜康 黒上 晴夫 黒田 卓 堀田 龍也 山西 潤一  
吉崎 静夫 赤堀 侃司 鈴木 克明 清水 康敬 堀口 秀嗣 中川 一史  
稲垣 忠 小林 祐紀 佐藤 幸江

## 令和2年度 石川県教育工学研究会 事業計画 (案)

| 事業          | 期日  | 概要  |
|-------------|---|---|
| 1 総会<br>理事会 | 5月30日(土)<br><br>令和3年3月7日<br>(日)   | 令和2年度 総会(オンライン開催)<br>・令和元年度事業報告・決算報告<br>・令和2年事業計画・予算案<br><br>令和2年度理事会(於:金沢大学)<br>・令和2年度事業報告・決算中間報告<br>・令和3年度事業計画・予算案<br>・令和3年度役員案   |
| 2 研究事業      | 5月11日(月)<br>5月15日(金)<br><br>5月30日(土)<br><br>6月<br><br>8月1日(土)<br><br>9月<br>10月<br>10月<br>11月6日(金)<br>7日(土)<br>12月<br>2021年<br>2月<br><br>3月7日(日) | ○事務局会 オンライン開催<br>○第1回学習会 オンライン開催<br>「どうする?休校期間中の取り組み!」<br>○第2回学習会 オンライン開催<br>「コミュニケーションツール Slackの活用法」<br>提案:金沢大学附属小学校 福田 晃<br>○第3回学習会 オンライン開催<br><br>○夏の実践交流会 (デジタル表現研究会と共催予定)<br>○論文検討会<br>○第1回ICTキャラバン<br>○第4回学習会<br>○第2回ICTキャラバン<br>○第46回全日本教育工学研究協議会全国大会 鹿児島大会<br><br>○冬の研究会 (金沢大学授業力向上ゼミと共催予定)<br><br>○北陸三県教育工学研究会富山大会<br><br>○令和2年度石川県教育工学研究大会<br>会場:金沢大学 |
| 3 刊行事業      | 4月、6月、8月、10月<br>、12月、3月<br><br>7月、3月<br>3月  | ○研究会ニュース<br>年間を通じ当会Webサイト <a href="http://i-kougaku.undo.jp/">http://i-kougaku.undo.jp/</a> にて<br>ニュースを掲載しています。<br>○会報(99号、100号、B5版、24頁、150部)<br>○第45号研究紀要(A4版、60頁、150部)  |

## 令和2年度 石川県教育工学会予算(案)

## (1) 収入

|       | 金額              | 摘要            |
|-------|-----------------|---------------|
| 会員負担金 | 268,000円        | 会費@4,000×67人  |
| 県補助金  | 320,000円        |               |
| 賛助会費  | 120,000円        | 会費@20,000×6社  |
| 雑入    | 10,000円         | 一日会員@1000×10人 |
| 計     | (a)<br>718,000円 |               |

## (2) 支出

|        | 補助対象経費          | 補助対象外経費        | 計                       |
|--------|-----------------|----------------|-------------------------|
| 賃金     |                 | 30,000         | 30,000                  |
| 謝金     | 20,000          |                | 20,000                  |
| 旅費     | 140,000         |                | 140,000                 |
| 消耗品費   | 6,000           |                | 6,000                   |
| 印刷費    | 300,000         |                | 300,000                 |
| 図書費    | 80,000          |                | 80,000                  |
| 事務連絡費  |                 |                | 0                       |
| 通信運搬費  | 90,000          |                | 90,000                  |
| 借上料    | 10,000          |                | 10,000                  |
| 組織加盟金  |                 | 10,000         | 10,000                  |
| 諸会合費   |                 | 26,000         | 26,000                  |
| WEB維持費 |                 | 6,000          | 6,000                   |
| 計      | (b)<br>646,000円 | (c)<br>72,000円 | (b)+(c)=(a)<br>718,000円 |



## 令和2年度 事業内容及び経費の配分（補助対象）（案）

| 科目名   |         | 1 総会・理事会             | 2 研究事業   | 3 刊行事業  |
|-------|---------|----------------------|--|---|
| 賃金    | 0       |                      |  |   |
| 謝金    | 20,000  | 講演会講師謝金<br>1人 20,000 |  |   |
| 旅費    | 140,000 | 講演会講師旅費<br>20,000    | 全国大会発表者・理事派遣<br>30,000×3人 90,000<br>北陸三県大会富山大会<br>10,000×3人 30,000 |   |
| 消耗品費  | 6,000   |                      | コピー代・資料代 2,000   | タックシール<br>角封筒<br>4,000                        |
| 印刷費   | 300,000 |                      |  | 会報 180,000<br>研究紀要 120,000                    |
| 図書費   | 80,000  |                      | 学習グループ研究奨励費<br>80,000  |   |
| 事務連絡費 | 0       |                      |  |   |
| 通信運搬費 | 90,000  |                      | 郵便葉書 30,000  | 会報郵送<br>年2回 40,000<br>研究紀要郵送<br>年1回<br>20,000 |
| 借上料   | 10,000  |                      | 会場費 10,000   |   |
| 計     | 646,000 | 40,000               | 242,000  | 364,000                                       |

# 石川県教育工学研究会会則

第1条 本会は、石川県教育工学研究会と称する。

第2条 本会の事務局は金沢大学人間社会学域学校教育学類附属教育実践支援センターにおく。

〔目的〕

第3条 本会は石川県の教育の振興をはかるために、新しい時代に即応した教育方法・技術の研究開発ならびに情報の交換を行うことを目的とする。

〔事業〕

第4条 本会は前条の目的を達成するために、次の事業を行う。

- (1) 教育工学研究大会等の開催
- (2) 研究会・講習会・講演会等の開催
- (3) 教育メディアの開発・利用に関する研究
- (4) 教育システムに関する開発および研究
- (5) 授業改善に関する研究および教材開発
- (6) 教育工学に関する共同研究の助成
- (7) 国内並びに外国との教育工学に関する情報交換
- (8) 研究紀要・機関誌・図書等の発刊
- (9) その他、本会の目的達成に必要な事業

第5条 本会の目的および事業に賛同し、協力するものをもって会員とし、次のように区別する。

- (1) 一般会員 (2) 名誉会員 (3) 賛助会員
- (4) 学生会員

第6条 本会に顧問および指導委員をおくことができる。

〔支部〕

第7条 本会の事業を円滑にするため支部をおくことができる。

〔役員〕

第8条 本会に次の役員をおく。

- |           |     |           |     |
|-----------|-----|-----------|-----|
| (1) 会長    | 1名  | (7) 研究部長  | 1名  |
| (2) 副会長   | 若干名 | (8) 研究副部長 | 2名  |
| (3) 常任理事  | 若干名 | (9) 研究委員  | 若干名 |
| (4) 理事    | 若干名 | (10) 会計   | 2名  |
| (5) 事務局長  | 1名  | (11) 会計監査 | 2名  |
| (6) 事務局次長 | 3名  |           |     |

〔役員を選出〕

第9条 役員を選出は次のようにする。

- (1) 会長は総会において選出する。
- (2) 副会長・常任理事・理事・会計は、会長が委嘱する。
- (3) 事務局長および事務局次長、研究部長、研究副部長、研究委員、運営委員は、理事会において推薦し、会長が委嘱する。
- (4) 会計監査は、会長が委嘱する。

〔役員の仕事〕

第10条 役員の仕事は次のように定める。

- (1) 会長は本会を代表し、会務を統括する。

- (2) 副会長は会長を補佐する。

- (3) 事務局長は本会の事務を統括する。

- (4) 事務局次長は事務局長を補佐し、本会の運営に関する企画・立案にあたる。

- (5) 常任理事・理事は、本会の運営についての重要事項を審議する。

- (6) 研究部長・研究副部長・研究委員は、本会の事業を推進する。

- (7) 会計は本会の会計の処理にあたる。

- (8) 会計監査は本会の会計経理の監査にあたる。

〔役員の仕事〕

第11条 役員の仕事は1年とする。ただし再任をさまたげない。

〔理事会〕

第12条 理事会は必要に応じて会長が召集する。

〔事務局〕

第13条 事務局は、事務局長、事務局次長、研究部長、研究副部長、研究委員をもって構成し、必要に応じて事務局会をもつ。

〔総会〕

第14条 総会は年に1回開催し、会長がこれを召集し、次の事項を審議、承認する。

- (1) 会長の選出
- (2) 予算・決算に関する事項
- (3) 事業計画ならびに報告
- (4) 会則の改正
- (5) その他必要事項

〔会計〕

第15条 本会の会計は会費、賛助会費、補助金、寄付金その他をもってあてる。

〔監査〕

第16条 本会の会計経理は会計監査による監査を受けなければならない。

〔会計年度〕

第17条 本会の会計年度は毎年4月1日から翌年3月31日までとする。

〔名誉会員〕

第18条 名誉会員は次のようにする。

- (1) 名誉会員は、本会の貢献者を理事会で推薦し総会で承認をとるものとする。
- (2) 名誉会員は終身制として理事会に進言できる。

〔細則〕

第19条 本会則の実施に必要な細則は理事会において定める。

〔付則〕

昭和45年6月21日会則施行

昭和56年5月24日改訂

昭和59年5月20日改訂

平成12年5月28日改訂

平成15年5月25日改訂

平成24年6月2日改訂

平成29年5月28日改訂